

2008年7月31日

No.0806

現評レク 30名参加
現業組織集會に参加
農林水産関係の取り組み
われら現業 ここにあり(新連載)
「取組方針」を考える(新連載)

現評

愛知県職員組合連合会
現業評議会

名古屋市中区三の丸2-3-2

愛知県自治センター

電話 052-951-4036

FAX 052-972-0649

URL: www.aichikenshoku.gr.jp

mail: gengyou08@aichikenshoku.gr.jp

2008年現評レク 30名参加!!

「天気にも恵まれ、楽しいレクだったねえ！」

「うん、料理も美味しかったですよねえ！」

「そうそう、漫才も…」 「???’

★★★★ 7月5日～6日 伊豆・箱根 ★★★★★



2日目 大涌谷(上)、箱根神社(下)にて

今回のレクは、箱根・大涌谷周遊と伊東温泉の旅ということで、30名の組合員が参加しました。
現評レクは、北はコロニーから南は新城まで全6ヶ所の送迎をするのですが、コロニーと新城の出発の時差は3時間。これでも、以前に比べると3ヶ所減らしたのですよ！早くに乗車された方々達は、待ち切れなくて車内宴会、大盛況！
6月1日からの道交法改正により後部座席のシートベルト着用が義務づけられ、以前のように車内移動がで

きなくなりました。それでも車内は、クイズ・カラオケで大賑わいです。
天気が良く、気温もどんどん上昇してぐったりしていましたが、伊豆「萬城の滝」ではしっかりとマイナスイオンを浴び元気を取り戻しました。
夕食交流会で喝采
副議長・事務局長の漫才



笹山副議長(左)と友山事務局長

今回は、CMでも有名な伊東温泉、ホテルサンハトヤに宿泊です。
最初にチェックインできましたので、お部屋でのんびりしたり、温泉に入ったりしてのんびりしていました。
夕食交流会では、来年3月定年を迎える4人の参加者に議長より記念品の贈呈を行ない、そしてこの交流会のメイン(?)、副議長・事務

自治労 現業組織集會に参加 現業の見直しをはね返す奮闘をまなぶ

7月24日～26日に岩手県花巻市で開催された現業組織集會に、役員5名が参加し学習、討論を深めてきました。

集會では、現業の見直し攻勢など新しい情勢の中、各組合からの参加者で真剣な討論が行われました。

(詳細は次号)



7月26日、全体集會

◆◆ 当面の日程 ◆◆

8月9日(土) 会場: アイリス愛知
10:30- 本部役員會議
13:30- 支部代表者會議
15:30- 農水部関係代表者會議

10月17日(金)～18日(土)
学習交流集會 サンヒルズ三河湾

◆◆ 現業さま ◆◆

先日、島崎藤村の小説「破戒」を読んだ。以前から興味があったので長い小説だったが、二日間で読みきった。読み終えた後、複雑な気持ちになった。同じ人間なのに、出身地で差別される。いくら努力しても、その出身地だからとの一言で、すべてが無になってしまふ。なんと不条理な事か。
しかし、他人事ではなく我々にも、相通じるものがある様に思えてならない。
皆さん、一度「破戒」を読んでみてください。

(加茂支部 S)

汗かきながら散策を楽しんだ後は、箱根ロープウェイで早雲山まで乗車。あいにくここから富士山を拝見することはできませんでしたが、帰路の富士川SAよりほんの少し拝見することができました。

皆さんのマナーが良く、事故もなく予定通りにレクを終わらせることができました。
来年は、さらに磨きをかけ、今回以上に楽しいレクをお約束いたします。大変お疲れ様でした。

(現評事務局 友山)

農林水産関係の現業職員を

引きつづき正規職員で

職場の状況は、待ったなし

農林水産部関係の職場では、この2、3年で現業職員の退職が続き、従来の退職不補充のままでは業務そのものが立ち行かなくなる実態です。

組合はこれまでも、農林水産部関係の現業職員の今後の方向を明らかにするよう求めてきましたが、明確な回答はありませんでした。現場では、一般職も含め待ったなしの状態となっています。さらに3月に県が発表し

「引き続き正規の職員で」 農林水産部に求めていく

現業評議会では、農林水産部関係の職場代表者会議を2回開き話し合ってきました。また、



段戸山牧場の職場集会（7月31日）

農林水産部に対して、今後の現業業務のあり方や現業職員の必要性を明確にさせることが重要のため、「現業職員の担っている業務については、引き続き正規の職員で行うこと」を統一要求していくこととしました。

所属長への分会要求にも必ず統一要求を入れ、所属長交渉で支持、賛同をとり部交渉で前進をめざします。

全職場で 現業職場集会を開催

また、「取組方針」による新しい情勢学習と組合の方針の討議のため、8月中旬に昼休み又は時間外に職場単位で農林水産部関係の現業職場集会を開催します。

- 7月30日 段戸山牧場、山間農業研究所(合同)、8月4日 農業総合試験場、8月5日 東三河農業研究所
 - 森林・林業技術センター、8月18日 畜産総合センター
- その他は調整中

われら現業職員

ここにあり

その① 段戸山牧場

段戸山牧場は、豊田市(旧稲武町)に位置し、職員は現業職員6名、一般職6名、再任用職員1名、嘱託職員2名の合わせて15名です。(10年前の半数ぐらい)

育成グループと草地グループの2グループに別れ、育成グループは県下の酪農家から特に将来性のある子牛



投稿をお待ちしています
掲載分には、薄謝を検討中。組合本部まで。

「取組方針」とは、総務省の強い圧力により愛知県が3月に発表した『技能労務職員等の給与等の見直しに向けた取組方針』のことです。この「取組方針」は、現業職の全廃や給与の大幅な引き下げも視野に入れたものです。このコーナーでは、「取組方針」の内容、問題点、全国的状况などを連載していきます。

第1回

連載

「取組方針」を考える

「取組方針」では、「給与制度及び職員定数の適正な管理による総人件費の削減に取り組みます」としています。

二つの攻撃

どう考えるか

このような県の方向には、次の二つの考え方が背景にあります。

①今、現業職員が担っている仕事は公務員がやらなくても、民間でも同じようにできるはず。

②公務員の現業職員は、民間に比べ給与が高すぎる。高い給料に見合った仕事はしていない。

あなたは、どう思いますか？「取組方針」に対する今後の活動は、この二つの考え方、世論とのたたかいです。

〈注〉「取組方針」は、県のHPに全文が載っています。

暮らしのメモ

厚生労働省の発表では、平成11年からは毎年20名前後の熱中症による死亡災害が発生しており、平成19年においても18件の死亡災害が発生。例年7月と8月に集中しており、時間帯別では午後2時から午後4時台に多発。

厚生労働省は、涼しい場所に休憩場所の確保、十分な作業休止時間や休憩時間の確保、スポーツドリンクなどによる水分、塩分の補給、温度計や湿度計の設置などを呼びかけています。

草地区域は、約35haの採草地の牧草をロールベールサイレージにし、年間約650t造り子牛のおなかを充たしています。全体的に機械化は進んできていますがそれにも増して、人員削減が進み、機械に人間が使われているような錯覚に陥ります。

今年度退職者が3人いますが、これ以上正規職員を減らされると今までも何とかなりくりしていたのが、本当に「お手上げ」状態になりかねません。

来年度も優良な基礎牛を酪農家に提供するためにも現業評議会と連帯していきたいと思えます。皆で頑張りましょう。

(連載で掲載していきます)



600頭を年間6期に別けて購入し、放牧を取入れ集団育成をし、健康で丈夫な基礎牛を県内酪農家に譲渡しています。